



例会/毎週水曜日 12:45～ 例会場/勇屋会館 事務所/安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F
TEL0263(73)2901 FAX0263(72)3181 E-mail azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 小林繁則 幹事 田野陽子・二木正之

2018～2019年度 R.1テーマ

インスピレーションになろう

R.1会長 バリー・ラシン



クラブ標語:「It is much More Important how to be good, rather than how to do good」

～ ガバナー公式訪問 ～

★ 配布

★ ゲスト

国際ロータリー2600 地区 2018-2019 年度

ガバナー 伊藤雅基 (いとう まさき) 様
ガバナー補佐 塚本建三 (つかもと けんぞう) 様
会計長 氣賀澤 正門 (けがさわ まさかど) 様

★ 会長挨拶 [小林会長]

「生活困窮家庭支援プロジェクトについて」活動紹介



ロータリーの友、平成30年7月号、「子どもの貧困をテーマに IM を開催」、第2770地区第7グループ、埼玉県より
当地区第7グループ(蓮田・久喜・栗橋・幸

手・幸手中央 RC)は2月24日、「子どもの貧困について」をテーマにインターシティミーティング(IM)を開催しました。

子どもの貧困と聞いても、ほとんどの人が遠い国の話だと思われるかもしれませんが、経済大国である日本でも確実に存在し、貧困を抱える子どもは増え続けているのです。

例えば、母子家庭で母親が勤めに出ると、子どもの食事はどうなるのか。昼は学校給食としても、朝晩はバナナ1～2本、カップラーメンとか。夏休みは給食がないため、10kgも痩せてしまう子がいるそうです。当日は、埼玉県にある NPO 法人地域子ども包括センター理事長の野口和幸氏を講師に招き、全国の子どもの食堂の実態と貧困にまつわる話を、JC メンバーからは食堂の運営について話を聞きました。後略。

この活度は、IM のテーマに取りあげ、現状の勉強会をしたという活動です。

当クラブも過日8月1日に南濃 IAC 顧問の小池先生に出席していただき、ロータリーデーと生活困窮家庭支援プロジェクト(こども食堂)について、趣旨を説明し、共同で奉仕活動を行う旨の依頼をし、承諾していただきました。開催予定日は当初、南濃 IAC 結成記念と合わせて、11月21日に予定していましたが、生徒の期末試験があるために、第一候補として12月2日(日)に予定変更になりました。会場については南安曇農業高校の一室を利用することは可能であること。食材については、会員や南濃でつくる食材を使って提供し、継続事業になれば、来年度は南濃の近くに水田を確保していただければ、南濃で稲作をして米も提供できるようにしたいという発展ある意見もいただきました。今後は内容をより深め、新プロジェクトが実現できますように、皆様の知恵と労力をお借りしたく、宜しくお願い致します。

★ 幹事報告 [二木正之 幹事]



別紙参照

◇出席

会員総数 28 名 出席免除会員数 2 名	
本日の出席率	前々回 (8 月 8 日修正出席率)
出席者 : 12 名	欠席者 : 15 名
欠席者 : 15 名	メキップ : 10 名
出席率 : 44. 44%	出席率 : 81. 48%

◇ニコニコBOX

赤羽 : ガバナーをお迎えして。

場々 : ガバナーをお迎えして。

石田 : 伊藤ガバナー、塚本ガバナー補佐、氣賀澤会計長をお迎えして。

笠原 : ガバナーをお迎えして。暑い中ご苦労様です。

小穴 : 伊藤ガバナー、塚本ガバナー補佐、氣賀澤会計長、ようこそあづみ野へ！

高木 : 交換留学生受け入れ出来ず、申し訳ありません。

[12 件 16, 280 円]

今年度ニコニコBOX 計 86, 520 円

★伊藤 雅基ガバナー 公式訪問 卓話

本年度の国際ロータリーのバリー・ラシン会長から出されたRIテーマは「BETHEINSPIRATION」(インスピレーションになろう)です。インスピレーションはインスパイア(感動させる、奮い立たせる)からくる言葉です。



“インスピレーションになろう”とは「ロータリアンは自らを鼓舞することにより、ロータリークラブ、地区RI事業を未来に向かって進化させるとともに、地域の人々を応援し多くの人々の鼓舞につながる活動をする人になろう」ということです。

ロータリアンが積極的にロータリー活動を行うためには、地区そしてクラブにおいてそれぞれに戦略計画を作成しそれを推進していくことが最も重要なことです。

ここで大切なことは、ロータリークラブとは、ロータリアンとは何なのか、目的は何なのかを今一度確認することだと思います。

ロータリー活動の根幹は「職業奉仕」であることは言うまでもありません。日本ではどちらかというと精神的なものあるいは倫理的なものとして各自に委ねており実践的な話をする機会はあまりないようです。

四つのテストと共に具体的な方法論を協議することもロータリーの魅力に加えてもよいと思います。また、RI会長はRIと各クラブがもっと身近に感じることが大切だといわれています。このことは、クラブ活動にとり非常に重要な意味合いを持ちます。各ロータリークラブは国際ロータリー(RI)の直接の会員です。その間には地区は存在しません。国際ロータリーへの加盟認証を受けたロータリークラブの目的は職業を通じ、また社会奉仕活動を通じ地域社会、地域経済に貢献し、国際ロータリーの推進する事業に参画し国際社会に奉仕、貢献をすることにあります。個人や地域団体では難しい世界に向けての奉仕、支援などに参画できることもロータリーの魅力にほかなりません。そして、国際ロータリーの事業である社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などの推進・参加は国際ロータリーに直結した会員であるクラブの義務でもあります。しかし各クラブが単独でインターアクト、ローターアクト、青少年交換、ポリオプラス、ロータリー平和活動などを行うことは現実的ではありません。

RIではクラブを会員数、クラブ数をもとに地勢学的要素も鑑み地区に分類しています。その地区内のクラブが人員を出し合い、地区単位でRI事業をクラブの責任において行えるようになっていきます。したがって、各クラブでは少なくとも1名以上の会員を地区事業委員会の構成員として推薦し地区RI事業に参画する責務があります。私自身長くに亘り地区委員会活動に携わり、その楽しさと実りを実感しています。

国際ロータリーでは地区を総括し支援するRIの役員としてガバナーを任命しています。ガバナーは新クラブ結成、地区委員長、委員の任命、予算執行などを委ねられていると同時にクラブ活動と地区事業委員会活動がRI行動目標に沿ってスムーズに実行できるように監理と支援を行う責任があります。

地区事業と呼ばれるものは地区内すべてのロータリークラブの参画のもとに行うものです。地区として地域社会、国際社会の未来に向けて行動する1年でありたいと思います。会員の皆様のご理解と協力をお願い致します。

